

特長 Feature

KPごとの路温 塩分濃度を線的に測定！

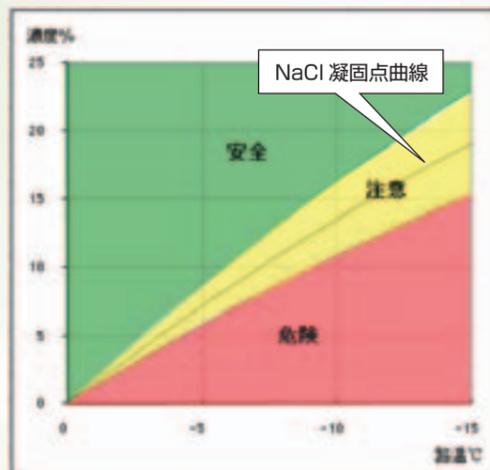
路面温度と濃度の同時測定及びGPSによる位置把握により、瞬時にKPごとの路温・濃度を把握。

路面判定を色別で分かりやすく表示！

凍結防止に必要な塩分濃度(NaCl凝固点曲線による理論塩分濃度)と測定濃度を比較して路面の状態を色別表示。

画像を使って、路面状況を確認！

車載カメラで撮影した画像をリアルタイムで伝送でき(5秒おき)、雪氷対策本部で路面状況を確認可能。



NaCl溶液状態図



路面状況画像



濃度測定面

導入のメリット Advantage

凍結防止剤散布の最適化を支援

KPごとの凍結防止濃度が把握でき、経験のみに頼らない追加散布の実施判断を支援⇒路面の安全確保の確認ができる。

雪氷作業の効率化

測定のための降車が不要になり、作業員の安全確保と作業時間短縮を実現。

サーマルマッピングに活用

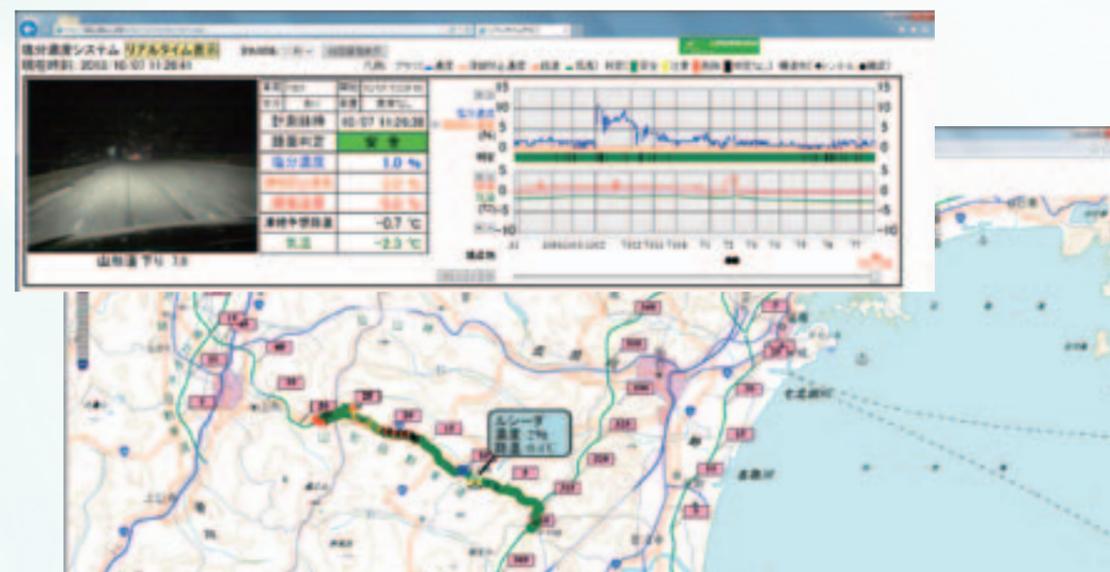
路温計測によって低路温現出箇所をデータで把握できるため、サーマルマッピング作成に活用できる。

システム構成 System Composition



表示項目

- KP・上下
- 気温 (°C)
- 路面温度 (°C)
- 塩分濃度 (%)
- 凍結防止塩分濃度 (%)
- 凍結予想路面温度 (°C)
- 路面判定 (塩分濃度比較)



導入実績 Main Customer

東日本高速道路(株) / 中日本高速道路(株) / 西日本高速道路(株)
国土交通省 関東地方整備局・中部地方整備局 (敬称略)